2018 年度　東北バレーボール大学男女リーグ戦 競技上の確認・審判上の注意事項

１．本大会は、平成 30 年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則による。

２．試合形式および使用球

（1）１部および２部は、５セットマッチで行う。３部以下は、３セットマッチで行う。
（2）大会使用球は、男子がミカサ、女子がモルテンとする。
（3）男女１部の全試合と２部の順位決定リーグは、５ボールシステムを採用する。従って、デット後のボールは速やかにコート外へ出すこと。相手コートに転がした場合は遅延警告の対象となるので注意すること。（それ以外は、全て１ボールシステムとする）

３．選手およびベンチスタッフのエントリー方法

（1）チームは、試合ごとにその試合の選手およびベンチスタッフをメンバー届に記載しエントリーする。
① 前試合の第１セット終了まで（第１試合は試合開始３０分前まで）に大会本部へ提出して確認を受けること
② メンバー届提出後のエントリー変更は、原則的に認めない。
③ 大会パンフレット記載（※）のチームスタッフまたは選手をエントリーすること。
※大会参加申込締切以降の追加は、正式な登録手続が完了したものに限り、エントリーができる。
④ 選手およびベンチスタッフの途中参加が予想される際は、試合前に学連委員および当該審判にあらかじめ申し出ること。
なお、途中参加はその都度できる。監督が遅れてきた場合は、ゲームキャプテンがラリー間に審判へ口頭で伝え、審判が、監督がベンチに入ったことを確認したら、監督としての権利を行使できる。監督は、セット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインをする。
（2）ベンチスタッフ
① 部長（当該大学の教職員に限る）は、試合ごとの変更はできない。
② トレーナーは、有資格者に限る。メンバー届提出時に資格の証明書類を提示すること。
③ ベンチスタッフは、大会パンフレット記載のチームスタッフまたは選手をエントリーすること。ただし、大会パンフレット記載の役職から変更してエントリーする場合は、メンバー届と一緒にスタッフ変更届を提出し、各会場の競技責任者が認めた場合に限りエントリーができる。
（3）リベロプレーヤー
① 選手を１３名以上エントリーするときは、２名のリベロプレーヤーを登録しなくてはならない。
② チームは、先発のリベロプレーヤーの番号と名前を、メンバー届の「リベロ」の欄の上の欄に記入する。控えのリベロは、その下の欄に記入する。
（4）東北学連に有効に登録されていない選手および試合にエントリーされていない選手が、試合に出場したときは以下のように取り扱う。
① 番号違いのユニフォームを着用した場合、試合開始前に発見した場合は、正しいユニフォームに着替えさせる。もし着替えることが出来なかった場合は、試合に参加することが出来ない。
② 試合中に発覚した場合は、当該チームがそれまでに得た得点を取り消し正規の競技者と交代させ、競技は続行させる。
試合終了後に発見した場合は、その試合を没収扱いとする。
（5）大会参加申込締切以降のチームスタッフまたは選手の追加　【リーグ運営マニュアル　資料１０　を参照すること】
① 当該週の火曜日１７時までに学連事務局へ「追加大会申込」データを送信する。
② 当該週のリーグ戦において所定の書類を大会本部に提出することで追加登録が完了する。
③ 競技者番号は、申込時に使用した番号は使用できない。また、番号を変更することも認めない。

４．競技進行に関する設定時間

（1）試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻の１５分前（３セットマッチの場合は１１分前）にプロトコールに入る。ただし、前試合が開始時刻までに終わらない場合は、前試合終了１０分後にプロトコールに入る。
（2）試合開始時刻が設定されていない場合は、試合間は、試合終了１０分後にプロトコールに入る。ネットの張替えがある場合は、張替え終了５分後にプロトコールに入る。（連続試合の場合は、２０分後にプロトコールに入る）
※前試合終了から次のプロトコール開始までの具体的な時刻は学連委員または当該審判から該当するチームに通知する。
（3）チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。その為、会場には余裕を持って到着しておくこと。また、試合の進行状況によってはコートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意しておくこと。定められた時間とは以下の２つがある。
① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より１５分後までとする。
② 試合開始時刻が設定されてない場合は、プロトコール終了より１５分後までとする。

５．公式練習

（1）公式練習はサーブ権を得たチームからそれぞれ５分間ずつ、合同の場合は１０分間とする。３セットマッチは、それぞれ３分間ずつ、合同の場合は６分間とする。
（2）公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第１セットのラインアップシートを副審または記録員に提出すること。ただし、記録員が記録用紙に記入した後、ラインアップシートの訂正は認められない。
（3）公式練習時には、その試合のメンバー届に記載されている選手およびベンチスタッフの他に、補助員（最大３名）が競技エリア内に入ることができる。
（4）試合開始前の練習中は、必要に応じて隣接するコートへのボール侵入を防ぐためのボールキーパーを配置すること。
（5）競技場の安全を確保するために、ボールカゴおよび部旗等は、試合開始後に競技エリアから外側へ出すこと。部旗は壁に立て掛けず、床に置くこと。

６．ベンチスタッフ

（1）ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装でなければならない。
（2）部長や監督がジャケットを着用し、その他のベンチスタッフが統一された服装であれば許可される。
（3）原則として、統一された服装（※）で、襟付きのものを着用すること。Ｔシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ等は許可されない。（※デザインが異なっていてもチームネームが入っており明らかに同一チームであることがわかる服装は許される）

（4）正規の競技中断は、監督より要求される。監督が不在の場合は、ゲームキャプテンだけが要求できる。
（5）監督のみ、試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、アタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの、フリーゾーンの範囲内では立ったままであるいは歩きながら指示を与えることを認める。ただし、審判員の判定に対するアピールや抗議、または監督自身がライン判定をすることを禁止する。なお、このような行為は罰則の対象となる。
（6）試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。（相手チーム選手の番号や名前を特定する行為）このような行為は罰則の対象となる。
（7）ベンチスタッフは、有効にエントリーされ、部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー章（6㎝程度の円台（色は自由）に部・監・C・T・Mの文字を入れたもの）を左胸に付けなければ、ベンチに着席出来ない。

7．ユニフォーム等の取り扱い

（1）ユニフォームは、ＪＶＡユニフォーム規定を適用する。
※くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲームへの参加は禁止とする。なお、ソックスは、チームで統一された色と長さでなければならない。
（2）ＪＶＡ公認企業以外の「ユニフォーム」「シューズ」「サポーター」を使用する場合は、各チームが予めロゴ（シューズの場合はそのラインの一部）を露出させないように処理をする。

8．給水のためのタイムアウト（全日本学連通達）

熱中症予防の観点から、室温温度が３０度以上の場合（※）、「給水のためのタイムアウト」を採用する。採用するタイミングは各試合のプロトコール前の室温温度とする。取扱いは次のようにする。
（※東北学連では、室温30 度以上に限らず、学連委員の判断で弾力的に運用を行う。）
（1）各セットにおいて、リードするチームが１３点、最終セットは８点(3セットマッチの場合は13点)で３０秒間の給水のためのタイムアウト(以下ＷＴＯ)が自動的に適用される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時をする。ハンドシグナルは示さない。
（2）このＷＴＯは給水を目的とするものであり、その間選手はウォームアップエリア付近で給水を行う。またベンチスタッフはベンチに座っていることとし、選手に指示することはできない。（給水を行うか否かの判断は、選手本人の意思による。給水を行わなくても同エリア付近にとどまること。控えの選手も同様である。）
（3）第５セットは、８点でチェンジコートをした後に引き続きＷＴＯとなる。(3セットマッチの場合は13点）その際、主審側を通ってコートを移動したチームがベンチ側のサイドラインを通過した時点で、副審が吹笛し計時を始める。
（4）正規の中断の要求やリベロリプレイスメントよりもＷＴＯを優先する。正規の中断やリベロリプレイスメントを行う場合は、ＷＴＯの後にその手続きをする。

9．ワイピング行為

（1）クイックモッパーがいないチームでゲーム中のワイピングは、原則としてコートの選手が行うのでワイピング用の布を用意すること。
（2）クイックモッパーは２名までチームから選出することができる。服装はプレーヤーと異なる統一されたもので、ベンチの両側に１名ずつ待機し迅速に行うこと。
（3）クイックモッパーは、ワイピングに徹すること。
（4）クイックモッパーの応援ならびにチームのマネージメント行為（ドリンク・アイシング作り等）は一切禁止とする。それらの行為は警告の対象となるので、注意すること。
（5）モップを扱う場合は、安全性を考慮して床に置いておくこと。
（6）試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイックモッパーが必ず行うこと。

１０．コートオフィシャル

（1）コートオフィシャルは、指定されたチームが行うこと。人数不足の場合は、受付時に学連委員まで申し出ること。
① 記録員２名、ラインジャッジ４名、点示員２名。（５ボールシステムの試合では、このほかにボールリトリバー６名）
② ２部予選リーグおよび3部以下は、①のほかに副審１名（有資格者または当年度講習会受講者に限る）
③ １部予選リーグは、①のほかにＪＶＩＭＳ３名（有資格者または当年度講習会受講者に限る）
（2）第１試合の場合、プロトコール開始１０分前、第２試合以降は前試合終了後速やかに記録席前に集合すること。
（3）チームで統一された服装（ユニフォーム可）とし、以下の事項を守り任務を遂行すること。
① 記録員は、正確に記録が出来るものが務めること。
② ラインジャッジは、審判員の一員として正確なジャッジをし、途中交代は出来ない。
③ 点示員は、常に正確な点示を心がけ、セット表示も正確に行うこと。チームプレートは、試合開始前に本部より受け取り、試合後本部へ返却する。
④ ボールリトリバーは、ラリー中は中腰姿勢で行い、座り込んだり、立ったりしないこと。ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がすこと。サーバーにボールを渡す者は、インプレー中、ボールを保持しておくこと。

１１．試合前の待機中のチーム

（1）競技エリア周辺での待機及びウォーミングアップは、試合進行の妨げとなるため禁止する。
① アリーナの外で待機すること。ただし、観覧ゾーンがない体育館に限り、競技エリア周辺で試合進行の妨げにならないように待機することを認める。（ボールカゴからボールを出して手に持つ行為は禁止する。）
② 前試合終了後の挨拶が終了するまで競技エリアに入ることを禁止する。
（2）前の試合が終了し、コートが空いた場合は次のとおりとする。
① 練習は、次の試合のチームに限り認める。
② 練習は、両チームで協議の上、自由に練習してよい。ただし、隣接コートにボールが入らないように十分配慮すること。

以上